

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社オープンドア 上場取引所 東
 コード番号 3926 URL <https://www.opendoor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 秀明 TEL 03-5545-7215
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	441	89.5	△49	—	△34	—	△35	—
2022年3月期第1四半期	232	97.2	△235	—	△196	—	△197	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 85百万円 (2.2%) 2022年3月期第1四半期 84百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△1.14	—
2022年3月期第1四半期	△6.37	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,547	5,174	93.1
2022年3月期	5,368	5,087	94.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,163百万円 2022年3月期 5,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	31,260,000株	2022年3月期	31,260,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	246,430株	2022年3月期	246,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	31,013,570株	2022年3月期1Q	31,013,622株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され持ち直しの動きがみられたものの、国際情勢に関連した円安やエネルギー・原材料価格の上昇による物価高騰、また新型コロナウイルスの感染が再度拡大しており先行きは依然として不透明な状況が続いております。

海外旅行市場に関しては、新型コロナウイルスによる各国の出入国規制の緩和に伴い一部地域のツアーが販売開始となるなど旅行需要の回復に向けた動き出しはありましたが、依然として旅行需要は著しく低い水準で推移しました。また、国内旅行市場に関しては、まん延防止等重点措置の解除や「県民割」の対象地域拡大など旅行需要は回復傾向にあったものの、感染拡大前と比べて旅行需要は低い水準で推移しました。（出所：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」）

このような状況のもと、当社の旅行関連事業におきましては、将来の旅行需要の回復を見据え、国内ホテルの空室カレンダー表示のリリースなどユーザー利便性向上のための積極的なシステム開発を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高441,056千円（前年同期比89.5%増）、営業損失49,340千円（前年同期は235,463千円の営業損失）、経常損失34,370千円（前年同期は196,497千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失35,393千円（前年同期は197,489千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,547,727千円（前連結会計年度末比179,386千円増加）となりました。これは主に、投資有価証券が174,355千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は373,679千円（前連結会計年度末比92,703千円増加）となりました。これは主に、繰延税金負債が53,561千円、その他流動負債が39,457千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,174,048千円（前連結会計年度末比86,682千円増加）となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が121,288千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失35,393千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2023年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況であります。そのため、2023年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,018,844	2,975,354
売掛金及び契約資産	193,215	241,565
その他	62,084	68,707
貸倒引当金	△47	△52
流動資産合計	3,274,096	3,285,575
固定資産		
有形固定資産	72,109	63,282
無形固定資産	1,241	1,062
投資その他の資産		
投資有価証券	1,728,045	1,902,400
その他	292,848	295,406
投資その他の資産合計	2,020,893	2,197,806
固定資産合計	2,094,244	2,262,152
資産合計	5,368,341	5,547,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,839	21,173
未払法人税等	11,776	5,126
その他	144,666	184,124
流動負債合計	171,281	210,423
固定負債		
繰延税金負債	67,094	120,656
資産除去債務	40,400	40,400
その他	2,200	2,200
固定負債合計	109,694	163,256
負債合計	280,975	373,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,292	648,292
資本剰余金	473,388	473,388
利益剰余金	3,821,283	3,785,889
自己株式	△17,610	△17,610
株主資本合計	4,925,352	4,889,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,791	273,079
その他の包括利益累計額合計	151,791	273,079
新株予約権	10,221	11,009
純資産合計	5,087,365	5,174,048
負債純資産合計	5,368,341	5,547,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	232,807	441,056
売上原価	163,089	166,056
売上総利益	69,718	275,000
販売費及び一般管理費	305,181	324,341
営業損失(△)	△235,463	△49,340
営業外収益		
投資有価証券売却益	-	84
為替差益	61	315
助成金収入	38,900	14,570
その他	3	-
営業外収益合計	38,965	14,969
経常損失(△)	△196,497	△34,370
税金等調整前四半期純損失(△)	△196,497	△34,370
法人税、住民税及び事業税	990	990
法人税等調整額	1	32
法人税等合計	991	1,022
四半期純損失(△)	△197,489	△35,393
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△197,489	△35,393

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△197,489	△35,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281,547	121,288
その他の包括利益合計	281,547	121,288
四半期包括利益	84,057	85,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,057	85,894

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生及び重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。